

ロタリクラブの発表

Oleh: Juju Juangsih

1. 挨拶

皆さん、こんにちは。本日、このような機会をいただきまして、ありがとうございます。日本語に不慣れない私は表現や言葉がおかしいところであろうかと思いますが、本当に申し訳ございません。では、自己紹介から参ります。

2. 自己紹介

私の名前はジュジュ ジュアンシーと申します。二つの名前ですけれども、名字がなく、全部自分の名前になってしまいます。友達をよくジュジュと呼んでいます。私はインドネシアのジャワ島の西ジャワから参りました。住んでいるところの名前はスバンという町で、インドネシアのジャカルタ首都からバスで3時間ぐらいかかります。

2006年の10月から教員研修プログラムとして日本に留学することになりました。

1997年にインドネシア教育大学を卒業して、2006の四月に同じ大学の大学院から卒業をしました。2000年から日本語を教えるようになりました。それで、2003年に半年で国際交流基金の奨学金で日本語の教授法を勉強しに浦和センターに来ました。

私は伝統的な音楽（西ジャワの Gamelan / ガメラン）という楽器の演奏が好きです。また、日本の演歌やさみせんを聞くのも好きです。以前3回—4回

さみせんの練習をしたんですけど、練習する時間は授業の時間とよくぶつかりましたので、続けられなくてとても残念です。

3. 日本に来ることになったきっかけ

私はインドネシアの大学で日本語教育を勉強して、卒業後、高校や専門学校、大学で日本語を教えていました。なので、日本へ行くのは夢になってきました。今の五年間に2回に日本へこれるのは大変良かったと思います。しかも、奨学金をもらって、勉強するのを集中できます。

4. 日本

以前言ったように2003年に日本に来ましたが、その時は先生、事務係りの方、受け付けの方以外は日本人と接するチャンスは少なかったんです。毎日勉強も食事も娯楽も全部センターが用意してくれました。最初は初めて日本に来た私のような外国人には大変助かりましたけれど、何だか時間に立つに連れてもっと日本人と触れ合っているなあと感じていました。ですから、半年に日本に住んでいましたけれど、日本や日本人は一体どんな国・どんな方でしょうかとまだはっきり分かりません。(他の理由も述べます)。

5. インドネシア

インドネシアの地位、インドネシアは東南アジアにある国で1万7千以上の島々からなるこの国で世界では一番大きな島国と言われている。インドネシアの面積は約190万5000平方メートルで、日本約5倍である。世論調査によると2007年のインドネシアの人口は2億2千200万人となっている。宗教 (イスラーム教87%、プロテスタント6%、カトリック4%、ヒンドゥ

一 教 1.8 % 、 仏 教 0.3 %)

<http://www.arukikata.co.jp/country/indonesia.html>。各地方ではさまざま

な地方言語があるが、標準語としてはインドネシア語。インドネシアは

せきどうちよっか, 赤道直下の熱帯性気候のため、かんき, 乾季と うき, 雨季

のふたつの季節がある。おおむね5～10月が乾季で、11～4月が雨季となる。

気温：<http://www.ryoko.info/Temperature/indonesia/indonesia.htm>

ジャカルタ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	27	28	28	28	28	28	28	28	28	29	28	27
最低気温	25	24	25	26	26	25	25	25	25	26	25	25

デンパサール (バリ島)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	31	31	31	32	31	30	30	30	31	31	32	31
最低気温	24	24	24	23	23	22	22	23	23	23	24	24

インドネシアの風景、地方語、など述べます。

6. 西ジャワ島のスバン市 (ふるさと)

では、故郷のスバン市について、簡単に紹介させていただきます。

スバン市は西ジャワにあるジャワ海に向かっている町です。インドネシアの首都のジャカルタからバスで3時間くらいかかります。スバン市の面積は二十万

五千百七十一平方メートルです。そこで百四十万七千人の人口がいます。スバン市では、2003年の統計量部の調査では人口の仕事の割合として、圧倒的に農家が高いです。続いて、サラリーマン、漁家と小売りがそれぞれ10%を占めています。

では、スバン市の観光地を紹介します。スバン市には海も山もあります。ですから、南の山の方には火山があって、そこに温泉があります。西ジャワで結構有名な温泉です。それと反して、北の方には海岸があります。スバン市のほとんど人々は農家として生活しています。お米を作ったり、契約員として、お茶畑とかゴムの木畑で働いて生活しています。

7. スバンパスندان専門学校

インドネシアでは専門学校というのは中等学校でも専門的な教科を中心に勉強する学校。つまり、中学校を卒業して、専門学校に進学するわけです。学習者の年齢は一年生ですと15歳か16歳ぐらいです。スバンパスندان専門学校は2000年に建てられたので、まだ設備とか建物なども教育を行うのは不十分だと思います。

教育を行う機関として、クラス以外、せめて図書館だけは不可欠なものだと思いますが、内の学校ではそれはまだ用意していません。クラスの状態もみんな様はご覧のように扉やガラスなしの窓のクラスはまだ多いです。ですから、授業中時に、鶏がクラスには入ったり出たりするのは毎日の見ることです。(ここでは実際のクラスの写真を見せません)。

8. 感謝

日本の文部科学省を始め、静岡大学の国際交流センターの先生方、静岡大学の

教育学部の先生方、特に国語学科の松岡先生に大変感謝しております。国で4年間くらい日本語を勉強しましたが、日本で日本人と接触するときに曖昧になったり、分からなかったりするのがまだまだ一杯あります。でも、この一年半で毎日テレビ番組を見たり、日本人か他の外国人と話し合ったりして、何とか日常会話と自分の専門の授業は分かりました。それから、今までの人生で初めてテレビ番組や新聞に出てきたのはこの一年半のときでした。一生忘れられないことになります

9. 将来（大学院に進学すれば）

今のプログラムまもなく終わりますけれど、勉強をまだ続けたいと思います。最近学部の授業を受けたり、大学院の授業を見学したりした上、今度大学院に入学したいという気持ちが強かったんです。大学院入学試験を失敗したら、国へ帰って、元の仕事をしたいとお見ます。また、インドネシア人に日本語を広げるために、日本語をコースを建てたいと思います。